

# 2012年3月期第3四半期決算(累計) プレゼンテーション資料

2012年1月  
大阪ガス株式会社

# I. 12.3期第3四半期実績

**インターネットを通じて定期的に経営情報を発信しています** : 下記のURLで、決算短信、アニュアルレポート、説明会資料等を閲覧・ダウンロードすることが可能です。<http://www.osakagas.co.jp/ir/>

**「見通し」に関する注意事項** : このプレゼンテーションには、将来の業績に関する見通し、計画、戦略などが含まれており、これらは現在入手可能な情報から得られた当社グループの判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、急激な為替相場・原油価格の変動並びに天候の異変等があります。

**ガス販売量に関する注記** : 全て、基準熱量を45MJ/m<sup>3</sup>として、表記しています。

**連結ガス販売量に関する注記** : 名張近鉄ガス・豊岡エネルギー・新宮ガスは12月決算です。

**四半期表記に関する注記** : 特に断りのない限り、「四半期」は「四半期累計期間」を表します。

本日は、お忙しいところ、当社の電話会議説明会にご参加下さいまして、ありがとうございます。

ただ今から、2012年3月期 第3四半期決算について、弊社ホームページで開示しておりますプレゼンテーション資料に沿って、簡単にご説明させていただきます。

# 12.3期第3四半期決算のポイント

## ■ 概況

連結売上高	LNG価格の上昇に伴い、 原料費調整制度に基づくガス販売価格が上昇したこと等から、 <b>前年比6.0%増収の8,687億円。</b>
-------	---

連結営業利益	LNG価格の上昇に伴う原材料費の増加により、 ガス粗利益が減少したこと等から、 <b>前年比52.9%減益の257億円。</b> <b>時期ずれ差損が329億円発生</b> (前年同期時期ずれ差益3億円)。
--------	---

## ■ ガス販売量

家庭用	11月の気温が前年より高めに推移し、暖房需要が減少したことから、 <b>前年比1.0%減少の1,322百万m<sup>3</sup>。</b>
-----	--

業務用	お客さま設備の稼働増加や新規需要開発等により、 <b>前年比1.3%増加の4,304百万m<sup>3</sup>。</b>
-----	---

## ■ その他

通期見通し	第3四半期実績で大きな乖離は見られていないことから、 <b>10月発表の見通しを据え置き。</b>
-------	--

新規事業拡大投資	カナダ・シェールガス開発プロジェクト、LNG船、 オーストラリア・イクシスLNGプロジェクトへの投資を意思決定。 第3四半期までの投資実行額は計478億円。
----------	--

Design Your Energy 夢ある明日を

OSAKA GAS

3

資料の3ページをご覧ください。

2012年3月期 第3四半期は、増収・減益の決算となりました。

連結売上高は、LNG価格の上昇に伴い、原料費調整制度に基づくガス販売価格が上昇したことや、電力不足を背景に、泉北天然ガス発電所の稼働が増加し、電力事業売上が増加したことなどから、前年と比べて6.0%増収の8,687億円となりました。

連結営業利益は、電力事業利益の増加はあるものの、LNG価格の上昇に伴う原材料費の増加により、ガス粗利益が減少したことから、前年と比べて52.9%減益の257億円となりました。なお、時期ずれ差損は329億円発生しています。

ガス販売量について、家庭用は、11月の気温が前年より高めに推移し、暖房需要が減少したことから、前年を1.0%下回る13億2,200万m<sup>3</sup>となりました。

業務用は、お客さま設備の稼働増加や新規需要開発などにより、前年を1.3%上回る43億400万m<sup>3</sup>となりました。

10月に発表しております通期の見通しについては、第3四半期実績で大きな乖離が見られなかったことから、据え置きといたします。

新規事業拡大投資については、カナダ・シェールガス開発プロジェクト、LNG船、オーストラリア・イクシスLNGプロジェクトなどへの投資を意思決定しました。第3四半期までの投資実行額は478億円となっています。

## 12.3期第3四半期ガス販売実績

45MJ/m <sup>3</sup>		A. 12.3期3Q	B. 11.3期3Q	A-B	A-B/B(%)
個 別	お客さま数(千件)	7,031	6,997	+35	+0.5%
	新設工事件数(千件)	52	50	+2	+3.6%
	家庭用1戸当り販売量(m <sup>3</sup> /月)	25.3	25.6	-0.3	-1.2%
	家庭用	1,322	1,336	-14	-1.0%
	商・公・医療用	1,137	1,195	-58	-4.9%
	工業用	3,167	3,051	+115	+3.8%
	業務用計	4,304	4,247	+57	+1.3%
	他ガス事業者向け	342	347	-5	-1.5%
	(うち大口供給)	(3,694)	(3,608)	(+86)	(+2.4%)
	ガス販売量合計(百万m <sup>3</sup> )	5,968	5,929	+38	+0.6%
連結ガス販売量	5,991	5,954	+37	+0.6%	

資料の4ページに、ガス販売実績をまとめております。

大阪ガス個別のガス販売量は、前年を0.6%上回る59億6,800万m<sup>3</sup>となりました。

用途別に見ますと、家庭用は、先ほどご説明しました通り、気温の影響により、前年を1.0%下回る13億2,200万m<sup>3</sup>となりました。

商業用・公用・医療用は、気温の影響や、節電対応と見られるお客さまの省エネルギー推進の影響などにより、前年を4.9%下回る11億3,700万m<sup>3</sup>となりました。

工業用は、金属やガラスなどの業種を中心に、震災影響と見られるお客さま設備の稼働の増加があったほか、節電対応と見られるコージェネレーションの稼働の増加や、新規需要開発などにより、前年を3.8%上回る31億6,700万m<sup>3</sup>となりました。

ご参考資料として、19ページに、ガス販売量の月別の推移を示しておりますので、あわせてご覧ください。

# 12.3期第3四半期実績 I

連結：億円、( )内は連単倍率

	A. 12.3期3Q	B. 11.3期3Q	A-B	A-B/B(%)	備考
売上高	(1.26) 8,687	(1.30) 8,198	+489	+6.0%	ガス販売価格の上昇
営業利益	(25.39) 257	(1.81) 546	-289	-52.9%	ガス粗利益の減少
経常利益	(5.62) 261	(1.63) 523	-262	-50.0%	持分法投資利益の増加
四半期純利益	(5.36) 129	(1.46) 297	-168	-56.7%	

		A. 12.3期3Q	B. 11.3期3Q	A-B
連結ガス販売量	百万m <sup>3</sup>	5,991	5,954	+37
時期ずれ差損益	億円	-329	+3	-333
原油価格	\$/bbl	113.1	79.7	+33.4
為替レート	円/\$	79.0	86.9	-7.8
連結子会社数		132	129	+3

12.3期3Q原油価格実績は、12月速報値までの平均。

Design Your Energy 夢ある明日を  


資料の5ページに、決算数値をお示ししています。

売上高は、前年と比べて489億円増加の8,687億円になりました。

下の表にありますように、原油価格が1バレルあたり33ドルあまり上昇したことから、時期ずれ差損益は333億円悪化しており、これによって、営業利益は、前年と比べて289億円減少の257億円に、経常利益は、前年と比べて262億円減少の261億円となりました。

なお、第3四半期の実績については、ほぼ、10月に発表した通期見通しでの想定通りに進捗しています。

## 12.3期第3四半期実績 II

連結:億円	A. 12.3期 3Q末	11.3期 3Q末	B. 期末	A-B	備考
総資産	14,466	13,917	14,372	+93	棚卸資産(原料)の増加等
自己資本	6,456	6,500	6,649	-192	
有利子負債	5,970	5,420	5,324	+645	短期資金調達の増加
在籍人員	20,057	20,022	19,684	+373	
自己資本比率	44.6%	46.7%	46.3%	-1.6%	
D/E比率	0.92	0.83	0.80	+0.12	

	A. 12.3期3Q	B. 11.3期3Q	A-B	備考
設備投資	591	495	+95	基幹導管(姫路岡山ライン)工事増加
減価償却費	694	718	-23	
フリーキャッシュフロー	-171	-132	-38	

フリーキャッシュフロー=営業活動によるキャッシュフロー(税引後営業利益+減価償却費等非現金支出)-通常の設備投資による支出。

資料の6ページには、資産・負債項目などの実績をまとめていますので、ご確認下さい。

設備投資については、姫路岡山ラインの建設が本格化したことなどから、前年を95億円上回る591億円となりました。

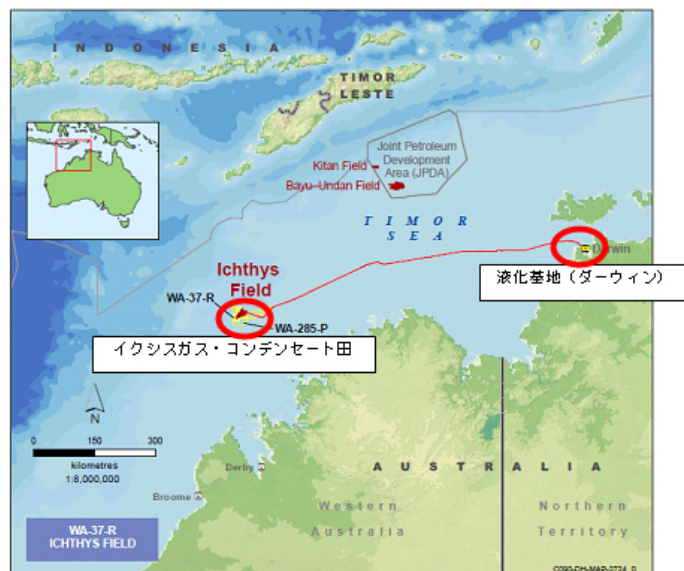


## 豪州 イクシス・LNGプロジェクトへの参画

- 2011年12月、オーストラリア北西部のイクシス・LNGプロジェクトの  
権益1.2%を取得する契約を締結。
- 権益取得とあわせて、LNG売買契約を締結。  
(2017年から15年間、契約数量80万吨/年)

### イクシス・プロジェクト

- オペレーター：  
国際石油開発帝石株式会社(INPEX)
- 生産開始:2016年12月末
- 液化能力:840万吨/年
- 液化基地:オーストラリア  
北部準州ダーウィン



Design Your Energy 夢ある明日を

OSAKA GAS

資料の7ページをご覧ください。

当社は、2011年12月、オーストラリア北西部のイクシス・LNGプロジェクトの権益1.2%を取得する契約を締結しました。イクシス・LNGプロジェクトは、2016年末から年間約840万吨のLNGの生産が予定されており、INPEX社がオペレーターを務めています。

今回の権益の取得により、長期間にわたる安定した配当収入が見込まれ、また、上流事業の総合的な技術・経営ノウハウを獲得することにより、将来のさらなる資源開発事業の拡大につなげたいと考えています。

なお、権益取得契約とあわせて、2017年から15年間、年間80万吨のLNG売買契約も締結しています。

8ページ以下には、通期の見通しその他の参考資料を付けておりますので、後ほどご覧下さい。

以上で、2012年3月期 第3四半期決算についてのご説明を終わらせていただきます。

## II. 12.3期通期見通し

**10月発表時の見通しから、変更ありません。**



## 12.3期ガス販売見通し

- 10月発表時の見通しから、変更ありません。

45MJ/m <sup>3</sup>		A. 12.3期 見通し	B. 11.3期 実績	A-B	A-B/B(%)
個 別	お客さま数(千件)	7,039	7,012	+27	+0.4%
	新設工事件数(千件)	79	79	-0	-0.2%
	家庭用1戸当り販売量(m <sup>3</sup> /月)	32.2	32.7	-0.5	-1.6%
	家庭用	2,242	2,275	-34	-1.5%
	商・公・医療用	1,553	1,624	-71	-4.4%
	工業用	4,330	4,141	+190	+4.6%
	業務用計	5,883	5,765	+119	+2.1%
	他ガス事業者向け	489	488	+1	+0.3%
	(うち大口供給)	(5,037)	(4,874)	(+163)	(+3.3%)
	ガス販売量合計(百万m <sup>3</sup> )	8,614	8,528	+86	+1.0%
連結ガス販売量	8,646	8,560	+86	+1.0%	

Design Your Energy 夢ある明日を

OSAKA GAS

## 12.3期見通し I

- 10月発表時の見通しから、変更ありません。

連結:億円 ( )内は連単倍率	A. 12.3期 見通し	B. 11.3期 実績	A-B	A-B/B (%)
売上高	(1.26) 12,910	(1.29) 11,871	+1,038	+8.7%
営業利益	(1.97) 710	(1.68) 885	-175	-19.9%
経常利益	(1.73) 700	(1.49) 823	-123	-15.0%
当期純利益	(1.58) 435	(1.33) 459	-24	-5.4%
SVA	100	132	-32	-24.2%
連結ガス販売量	百万m <sup>3</sup> 8,646	8,560	+86	
時期ずれ差損益	億円 -277	-85	-192	
原油価格	\$/bbl 112.3	84.1	+28.2	4Q前提は\$110/bbl
為替レート	円/\$ 79.3	85.7	-6.5	4Q前提は80円/\$

(\*) 為替レートおよび原油価格のみ、10月～12月実績を反映した見通しに置き換えています。

SVA(Shareholders' value added)=NOPAT- 投下資本×WACC

Design Your Energy 夢ある明日を

OSAKA GAS

## 12.3期見通し II

■ 10月発表時の見通しから、変更ありません。

連結:億円	A. 12.3末見通し	B. 11.3末実績	A-B
総資産	15,192	14,372	+819
自己資本	6,936	6,649	+286
有利子負債	5,718	5,324	+393
在籍人員	19,830	19,684	+146
自己資本比率	45.7%	46.3%	-0.6
D/E比率	0.82	0.80	+0.02
	A. 12.3期見通し	B. 11.3期実績	A-B
設備投資	908	696	+212
減価償却費	968	975	-7
フリーキャッシュフロー	708	727	-19
ROA	2.9%	3.1%	-0.3
ROE	6.2%	6.9%	-0.7
EPS (円/株)	20.9	21.6	-0.7
BPS (円/株)	333.1	319.3	+13.8

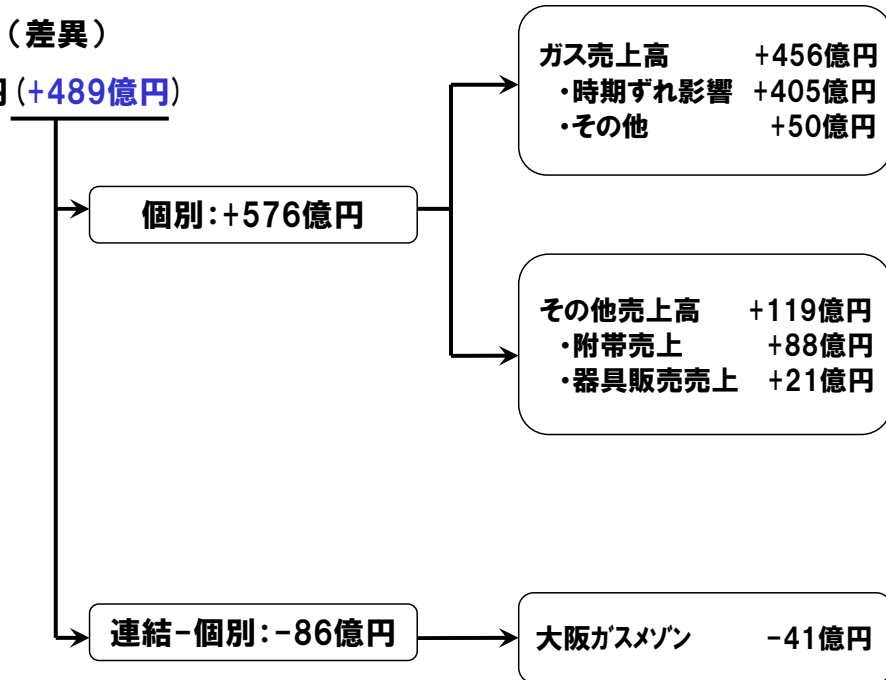
フリーキャッシュフロー= 11  
 営業活動によるキャッシュフロー(税引後営業利益+減価償却費等非現金支出)－通常の設備投資による支出。

### III. 参考資料

# 12.3期第3四半期の売上高差異(対11.3期)

11.3期3Q → 12.3期3Q (差異)

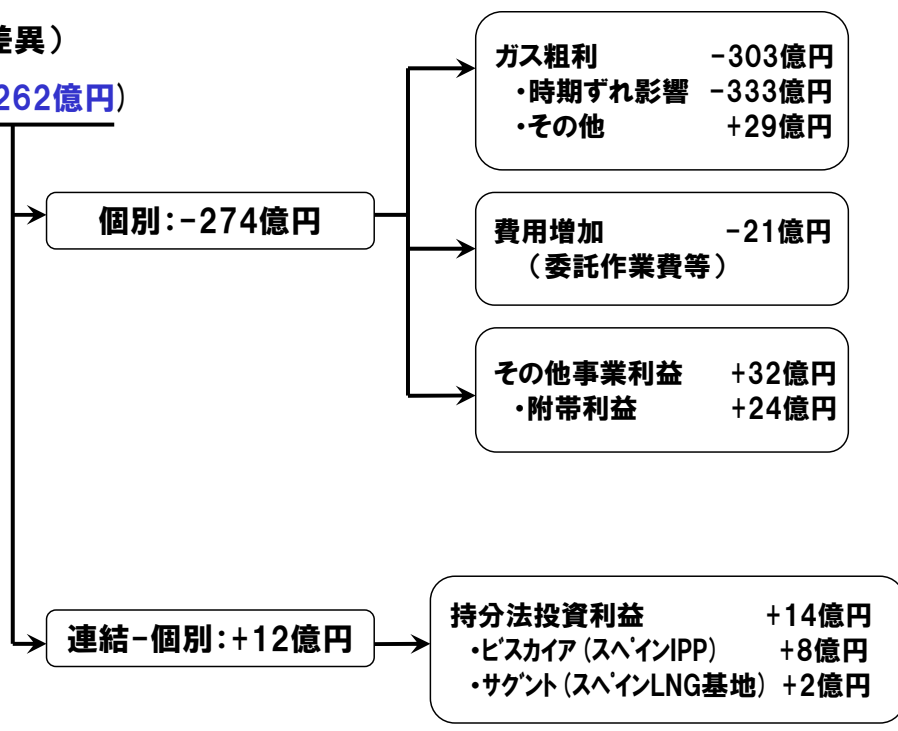
8,198億円 8,687億円 (+489億円)



# 12.3期第3四半期の経常利益差異(対11.3期)

11.3期3Q → 12.3期3Q (差異)

523億円      261億円 (-262億円)



# セグメント別実績

単位:億円	売上高		セグメント利益		備考
	12.3期 3Q	11.3期 3Q	12.3期 3Q	11.3期 3Q	
ガス	6,501	6,024	-93	229	売上:ガス売上増 利益:時期ずれ差損の拡大
LPG・電力・ その他エネルギー	1,289	1,221	187	168	売上:電力売上増 利益:電力利益増
海外エネルギー	79	83	47	39	利益:海外電力利益増等
環境・非エネルギー	1,305	1,297	129	105	売上:情報売上増等 利益:ケミカル利益増等
消去又は全社	-489	-428	16	18	
連結	8,687	8,198	287	562	

セグメント利益＝営業利益＋持分法投資利益



# セグメント別見通し

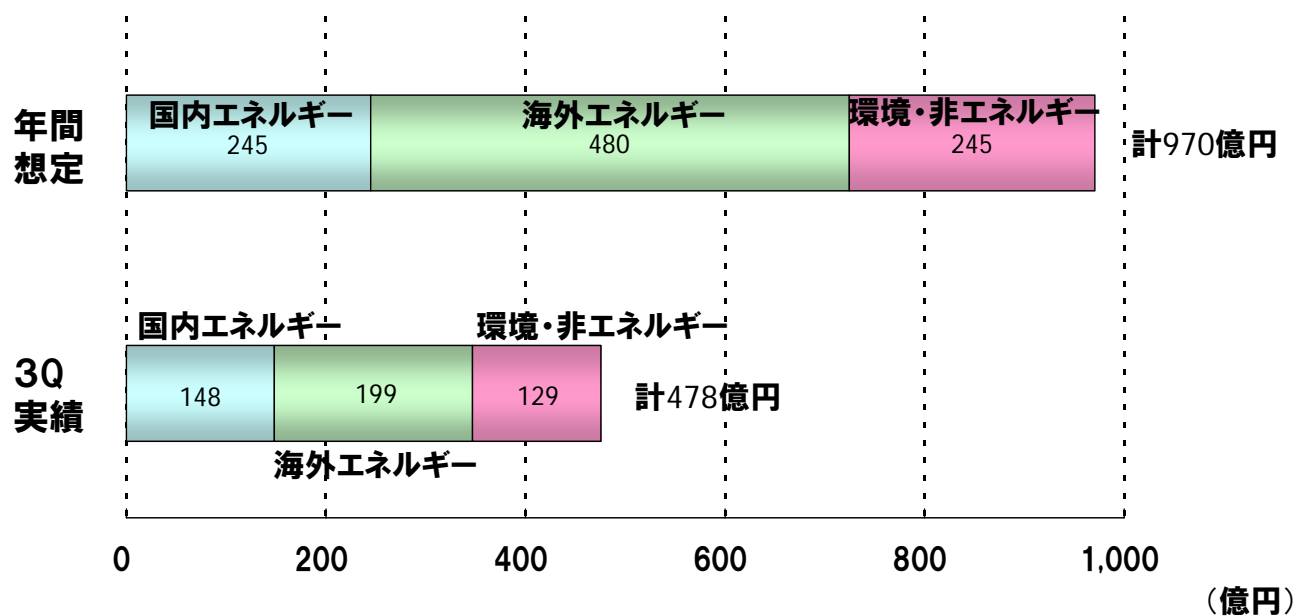
- 10月発表時の見通しから、変更ありません。

単位:億円	売上高		セグメント利益		備考
	12.3期 見通し	11.3期 実績	12.3期 見通し	11.3期 実績	
ガス	9,655	8,798	210	419	売上:ガス販売価格の上昇 利益:時期ずれ差損の拡大
LPG・電力・ その他エネルギー	2,060	1,747	275	256	売上:電力・LNG販売売上増、 LPG販売単価増等 利益:電力利益増等
海外エネルギー	110	111	60	49	持分法投資利益増 (スペインIPP、北海油田)
環境・非エネルギー	1,755	1,854	175	156	売上:不動産売上減等 利益:ケミカル利益増等
消去又は全社	-670	-640	20	25	
<b>連結</b>	<b>12,910</b>	<b>11,871</b>	<b>740</b>	<b>907</b>	

セグメント利益＝営業利益＋持分法投資利益

# 12.3期第3四半期新規事業拡大投資実績

## 12.3期の新規事業拡大投資



投資額には設備投資案件と投融資案件の両方を含むため、設備投資の実績値とは異なります。

# ガス販売量の前年同期差異分析

	家庭用	商公医療用	工業用
調定件数	+0.2%	--	--
検針日数影響	+0.0%	--	--
気温影響	+0.0%	-1.8%	--
需要開発	} -1.3%	+3.1%	+3.4%
稼動増減その他		-6.2%	+0.4%
合計	-1.0%	-4.9%	+3.8%

## ■ 商公医療用

- 公用物件を中心とした新規需要開発はあるものの、夏場の低気温の影響や、節電対応と見られるお客さまの省エネルギー推進による影響により、対前期 -4.9%。

## ■ 工業用

- お客さま設備の稼動増加と、燃料転換等の新規需要開発により、対前期 +3.8%。

# 12.3期第3四半期月次ガス販売の推移

## 前年同月比 (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計	備考	
家庭用	101.5	96.2	100.7	94.7	99.4	116.9	106.9	92.5	94.8	99.0	気温影響	
商・公・医療用	102.4	94.8	103.7	97.4	91.7	90.4	92.7	90.7	97.7	95.1	節電対応の兆候	
工業用	103.3	107.5	102.5	102.6	106.4	102.1	107.1	102.1	100.9	103.8		
業種別	機械	87.9	95.7	99.3	95.6	99.0	96.9	94.0	86.6	99.8	95.1	震災後のサプライチェーン途絶による稼動減
	金属	104.6	106.4	100.6	104.0	111.4	105.0	112.5	108.7	105.8	106.5	震災後の東日本からの生産シフト・復興需要による稼動増
	ガラス	114.3	115.8	105.9	110.0	109.7	114.7	114.9	101.9	105.3	110.2	
	食品	101.8	106.0	105.7	100.3	100.6	101.9	101.9	101.2	99.5	102.1	
	化学	101.6	110.9	98.5	96.2	98.1	94.6	100.6	99.5	87.2	98.4	
卸	101.0	108.3	100.8	94.0	102.5	97.6	105.6	86.8	92.6	98.5		
計	102.4	102.1	102.2	99.6	101.1	100.1	103.6	96.8	98.1	100.6		

# 年度見通しに対するリスク要因

## ■ 気温・水温

- 気温・水温1度の変化に対して、家庭用ガス販売量は、春秋期約5%・夏期約6%・冬期約4%変動する可能性がある。

## ■ 原油価格

- LNG価格は原油価格にリンクするために、原油価格1\$/bblの変化に対して、今年度第4四半期の粗利益は1億円変動する可能性がある。

## ■ 為替レート

- LNG価格は米ドル・円の為替レートにリンクするために、為替レート1円/\$の変化に対して、今年度第4四半期の粗利益は13億円変動する可能性がある。

## ■ 原料費

- 原料費調整制度によって、中長期的には原料費の変動はガス料金に転嫁されるが、反映までのタイムラグや原料調達先の構成によって、業績に影響を与える可能性がある。

## ■ 金利

- 金利1%の変動に対して、今年度第4四半期の連結営業外費用が1億円変動する可能性がある。